

1	審議会名	第4回真田地域協議会
2	日時	令和4年7月26日(火) 午後7時00分から午後8時00分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、重倉政三 委員、清水由香 委員、高寺由美子 委員、滝沢博文 委員、田畑和秀 委員、中村すみ子 委員、堀内和子 委員、堀内正寿 委員、堀内靖子 委員、松本規男 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、柳沢泉 委員、柳沢芳明 委員
5	市側出席者	田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、小林産業観光課長、皆瀬建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長、櫻井スポーツ推進課長、清水課長補佐 兼 スポーツ推進担当係長、宮島課長補佐兼地域政策担当係長、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年7月27日

協議事項等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 報告・確認事項

- (1) 市民の森公園スケート場の廃止について(スポーツ推進課)
 - ・担当係長から説明

【質問】

(委員) 今の説明を聞いて経費上での廃止はやむなしとは思いますが、子どもたちが大きくなって他県などに出たときに、長野県出身となると「スキーはできるのか」「スケートはできるのか」と必ず聞かれる。スケート場は廃止になったとしても、例えばエムウェーブに行ってスケート教室をやるとか、スキーもスキー教室に手厚い予算をつけていただくとか、子どもたちが将来に渡ってウィンタースポーツに慣れ親しんでいただけるような支援をしていただけるようお願いしたい。

(スポーツ推進課長) 現状で市内21校、小学生低学年が中心だが、市民の森スケート場でスケート教室を行って頂いている。(廃止になる)代わりではないが市外でのスケート教室やスケート大会といったものへ、現状の維持管理費の一部を充てていく事は今後も検討していきたい。

(委員) 三点お聞きしたい。まず現在の運営費用の上田市と東御市の負担割合はどのようになっているのか。次に東御市でのコンセンサスはどのように進んでいるのか。三点目にゴーカート場は継続していくとのことだが、期間はどの程度を検討しているのか、以上をお願いしたい。

(スポーツ推進課長) まずはかかった経費についてだが、前年かかった経費の20%は東御市と均等割での負担となっており、残りの80%については人口比率で負担額を決めているが、現状では上田市がこのうちの8割ちょっとを負担している状況である。東御市でのコンセンサスについては、上田市と東御市の間では担当者同士ですでに方向性は共有しながら進めており、市民との間については自治体の進め方があるのでそこまで承知しているわけではないが、行政としての意思の疎通はできている。今のゴーカート場は4月から10月まで営業している。市民の森の標高などを考えても、延ばしても3月終わりぐらいから11月くらいまで、使える期間としてはほぼ一緒となるが、スケート場の準備や後片付けの期間が無くなるので、人気のあるゴーカートなので可能な限り延ばしていきたいと考えている。

(委員) 私は一昨年小学校のスケートボランティアをやったのだが、2年生でまず転び方、3年生になっても同じような感じで、二回やって恐らく子どもたちは一生やらない子もいると思う。上田市の中ではスキー教室もなくなってしまったところもある。そういう意味で、希望のあるところには支援をしていただければありがたいと思う。それと、市民の森は眺望もよいところもあり、上手に運用すれば人が集まる場所になると思う。そのあたりの廃止後の運用についても考えがあればお聞かせ願いたい。

(スポーツ推進課長) ご意見いただいたようにスケート教室など我々とすれば子どもたちのウィンタースポーツの推進というのはスポーツ推進計画でもうたっているため、今後もやりたい子どもたちに向けては支援をしていきたいと考えている。また、市民の森の利活用については地元豊殿地域の皆様からも様々なご意見をいただいている。立地や環境を生かした、例えばキャンプ場だとか、ある程度方向性を定めて、また本来の公園としてのニーズも十分に把握していきたい。

(2) 次回地域協議会の開催日程について

- ・計画どおり8月23日(火)19時から、内容として真田地域における農産品の取組みについて、産業観光課から説明。

(3) その他

(建設課長) 前回の地域協議会で御質問をいただいた事項について県に確認したので報告したい。まず、菅平ダム下の国道406号線おける道路規制について、7/8に施工業者が決定し工期は11/25までという報告があった。橋梁の菅平谷側の擁壁にひびが入っており、そこをコンクリート製のL字型の擁壁にやり直す工事になる。まだ着工日等、詳細は決まっていないうだが引き続き道路規制について御理解御協力をお願いしたい。続いて、県道長野真田線の規制について、前回もお話ししたとおり県道隣を流れる傍陽川に、護岸の土砂の一部が崩れているという状況。降雨期でもあるため、時期に配慮しながら工事を行っていくと聞いている。こちらは着工に向け準備中ということだが、市からもできるだけ早い工事の完了を目指してほしい旨を申し伝えてあるので御理解いただきたい。三つ目が国道144号上野バイパスについて、現在県が工事を行っているが、開通の時期については現時点では申し上げられないという回答があった。もう少し今の工事が進んでくると時期もわかってくるのかと思う。

- ・真田の郷まちづくり推進会議から報告
- ・会長、事務長からこれまでの活動報告と竹パウダー事業の修正報告

事務局から

- ・武石地域協議会だよりの案内

5 閉会